

カゴメ、デジタル社債10億円発行 みずほFGの基盤活用

2023/01/30 20:00 日本経済新聞電子版 670文字

カゴメはブロックチェーン（分散型台帳）技術を用いた「デジタル社債」を発行する。期間は1年で発行額は10億円。普通社債に比べて少額で購入できる特徴があり、購入者にはカゴメの商品も贈呈する。オンラインで買える「優待付き」個人向け社債の発行を通じ、知名度の向上を狙う。

みずほフィナンシャルグループが提供する基盤を使い、デジタル特典付き社債「カゴメ日本の野菜で健康応援債」を2月21日に発行する。1口10万円から購入できる。利率は2月8日に決まる予定で0.1～0.4%程度を想定する。募集は9日から20日までで、楽天証券の口座からのみ購入できる。

カゴメが運営する電子商取引（EC）サイトの会員登録をすれば4000円相当の飲料「つぶより野菜 195グラム」15本入りの特典がもらえる。優待品を加味した利率は4%超となる見通し。

デジタル社債はブロックチェーン技術を使って「有価証券とみなされる権利」が電子的に発行されるデジタル証券の一種。販売単位を自由に設定できるのが特徴で、小口化しやすく投資家層を拡大できる。日本ではこれまで丸井グループやスパークス・グループが発行した。

カゴメは個人株主の7割近くを60歳以上が占める。個人向け社債の発行で若年層の個人投資家にアピールし、将来の株式購入を促す狙いもあるようだ。通販事業でも顧客の高齢化が課題となっている。今回の社債で最大1万人の新規獲得につながるとみている。

カゴメの佐伯健最高財務責任者（CFO）は「株式より優待品を得るために必要な額が少なく済む点が強み」と話す。第2弾以降の起債も検討するという。



カゴメはデジタル社債で若年層の個人投資家にもアピールする

許諾番号30097370 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.